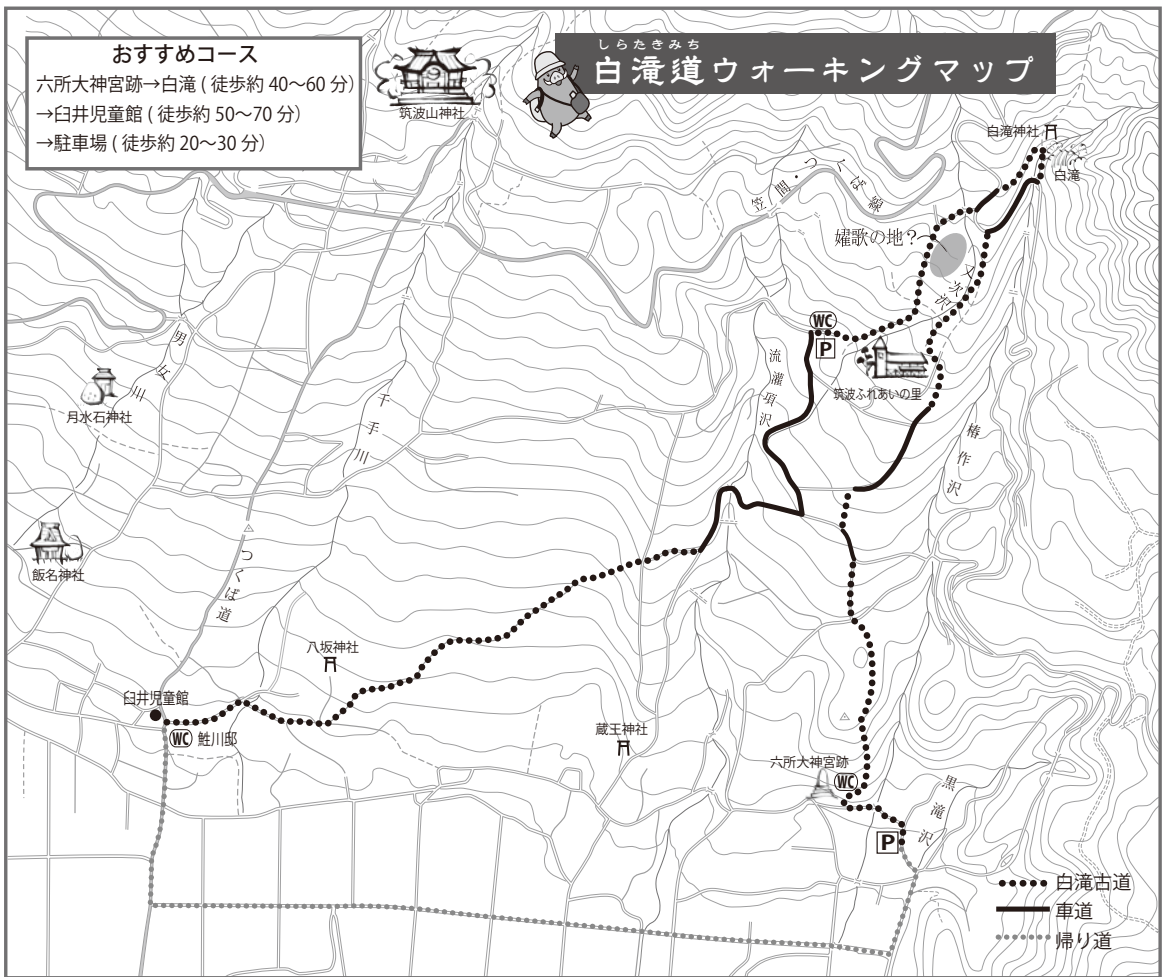


石と平らな場所があるはずだと言う。古道復活隊のこれからの活躍に一同期待が高まる。

なだらかな下り坂、古道の姿を残している石段を踏みしめながら臼井

八坂神社に向かう。冬の間にクラブの人達が草刈りをして整えた道、すでに草丈は高くなっているが充分に歩くことが出来る。今年3月に植樹した「八坂神社の森」は、黒松、檜



桜がしっかりと根付き、次世代への大切な「森の贈り物」は芽を出し始めていた。古道の終わりは築120年の鮭川邸でゆつたりとした時を過ごす。

今人々は「真の豊かさとは何か」を自覚し文化技術を磨き始めている。多くの人々の力と時間を費やして、再び「白滝古道」は現代の人々に人間と自然とのバランスのとれた豊かさを喚起させ、幸せを分け与え始めているような気がしてならない。「古きを知ることは新しき幸せの始まり」そんな気持ちを強くさせてくれた一日であった。

石井博子（神郡地区）

白滝神社概要
「新治 筑波を過ぎて 幾夜か寝つる」と詠われた、日本武尊が東征のさい、鬱蒼と茂る筑波山中の滝のある付近で道に迷ったとき、白鳥が飛来し、道案内を務めてくれたので、無事東征の目的地に向かうことが出来たことから、この滝のある地を白滝と命名し、社を建立したと言う。言い伝えがある白滝神社は、六所大神宮跡から筑波山の女体山に登る中間地にあり、山岳信仰の拠点であった。白滝をみて、一遍上人(時宗の祖)が「くり出す手にもみだるる白滝の玉をつらぬく糸のかずかず」と詠んだという(筑波山名跡誌より)

現在もこの神社に來ると靈感を感じると言い、寒中の滝で禊をする方が多い。鎮座地 つくば市臼井字白滝2099
祭神 日本武尊やまとたけるのみこと
祭礼 例大祭 8月28日
境内 2425坪
森田源美(六所地区)

●白滝道の道標づくり

道標づくりの作業の日は朝から雨でしたが、森田源美・田井の里地域づくり愛好会会長宅の門の下で作業をしました。スペースは畳4枚ほど、屋根つきで、悠々と作業ができます。この門は、会長のお母様のお嫁入り直前に母屋が火事で焼けたときにも焼けずに残ったとのこと。森田家の



道標完成！

歴史をずっと眺めてきました。「嫁入り直前に家が火事で燃え、母はさぞ難儀したでしょうね」と今は亡きお母様を思う会長

40本の道標を立てる作業は、草刈りとともに、「すそみろく」のメンバーと「つくば森林クラブ」「茨城県ウォーキング協会」の応援団が集まり実施。六所大神宮跡からと臼井のつくば道からの二班に分かれて作業を開始。筆者は六所からの班に加わり、山道を登りながら、ポイントに道標を打ち込み、油性マジックで

ある。春霞にけぶる夕景の美と鐘の音が詠まれた詩である。しかし、惜しいことに残りの七景が詩集にない。なんとも残念である。残りの七景の存在をぜひとも知りたいものである。

遮那ひろみ(神郡地区)



神郡八景の存在が最近明らかになった。事の発端は、拓本の世界に造詣の深い桜井孝氏(神郡地区)の紹介で、飯田繡嶺先生(1785-1832)墓碑の拓本をとるために水戸市に住む鈴木健夫氏が、普門寺を訪れたことにある。繡嶺先生は、医者として、また文人として多くの業績を残したと、その墓碑に讃えられている人物である。鈴木氏はその後偶然にも「繡嶺先生詩集」が現存するのを発見。そしてその中に「普門寺晚鐘 神郡八景之一」という詩が詠まれていたので

地面が固いとなかなかたいへんです



矢印を書き込む作業をしました。道標は見やすいように、位置や印字してある面の角度、矢印の方向など工夫も大切です。軽トラックに刈り払い機と補充用の道標を積んだグループが先回りし、草刈りが進み、新しい道標を受け取りながらさらに上へと登ります。昼ごろに白滝に到着、草刈りグループも合流し、滝を眺めながらの昼食となりました。

臼井からの班は、草刈りに難儀している様子、午後からは草刈りグループが応援に行き、我班は下るコースに道標を立てていきました。筑波ふれあいの里の駐車場で臼井からの班と合流し、この日の作業を終了。たくさんの方が歩いてくれると草も生えなくなります。もうすぐマップも完成しますので、この筑波山麓の「白滝道」を、ぜひ、歩いてみてください。

田中ひとみ(つくば環境フォーラム)

●夏祭り

神郡祇園祭り 7月19日(日)／山車、神輿がにぎやかに町内を練り歩きます。臼井八坂神社の御神火 7月18日(土)はおかがり(20時点火、7月19日(日)子どもみこし(9時)大人みこし(15時)杉ノ木稲荷万燈 8月23日(日)17時頃から子どもたちが描いた約30基の万燈で神社までの参道を飾ります。

●平沢万灯

8月22日(土)18時21時／雨天時23日(日)遺跡の復元建物をライトアップ、八幡神社までの道を万灯で飾り幻想的な光の世界を演出します。

「問」平沢官衙遺跡案内所
029-8667-1584

●田楽の集い 稲刈り

9月13日(日) 10時15時／雨天中止／参加費大人1000円、学生・障害者・小人500円(昼食付)／筑波山の麓の谷津田で無農薬の米づくり。黒米や赤米を手刈り、あぜで創作「田楽舞い」もあります。

「問」NPO法人自然生クラブ
029-866-12192

●「すそみの田んぼ」棚田の稲刈り

9月22日(火・休)10時15時／参加費900円(昼食付)／生き物のために、沢水だけで無農薬の米づくりをしています。／支援金募集中(収穫量に応じお米の配分あり。詳しくはお問合せを)／「問」NPO法人つくば環境フォーラム029-8663-1515



絵：榎田未緒(田井小学校5年)